

Prezam Pool Builder

操作説明書

第一版



株式会社プレザム

目次

はじめに	2
ファイル形式について	5
Prezam Pool Builder の標準形式ファイル	5
FSGファイル形式	5
プールファイル形式	5
使い方	6
Prezam Pool Builder で一から単語を追加してプールファイルを作成する	6
FSGファイルから読み込みプールファイルを作成する	8
プールファイルを読み込み、単語を追加して新しいプールファイルを作成する	10
リファレンス	12
起動方法	12
新規作成	12
開く	12
上書き保存	12
名前を付けて保存	12
アプリケーションの終了	13
ファイルの読み込み	13
FSG ファイルからの読み込み	13
プールファイルからの読み込み	13
追加	14
修正	14
削除	14
プール作成	14

はじめに

Prezam Pool Builder とは

Prezam Pool Builder(以下プールビルダーと言います)は、IBM ViaVoice を用いた音声認識アプリケーション開発を助けるために開発されたツールです。

IBM ViaVoice のナビゲーション機能を用いたアプリケーションを開発するには、認識させたい単語あるいは文章を定義したボキャブラリー(辞書)と単語の発音辞書であるプールファイルの2種類の辞書を作る必要があります。これらの辞書を作成するには、今までは IBM ViaVoice SDK に入っている文法コンパイラーとディクショナリービルダー という二つのツールが必要でした。プールビルダーは、この二つのツールの内、プールファイル作成ツールであるディクショナリービルダー の代わりに使うツールです。プールビルダー標準のCSV形式ファイルやボキャブラリーファイルであるFSGファイルはもとより、更にプールファイルも読み込み修正することが可能と、とても使いやすいツールとなっています。

Prezam Pool Builder の特徴

「単語」と「よみ」を羅列したテキストファイルからプールファイルを簡単に作成することができます。また、そのファイルに対して新たに単語を追加したり、修正したりすることもできます。

「単語」を入力すると、それを元に「よみ」を表示します。「よみ」が正しい場合には、「baseform」を「よみ」から生成」ボタンを押下すると、baseform が「よみ」から生成されます。

「baseform」がすべて埋まったら「プール作成」メニューによりプールファイルを作成するだけと操作は至って簡単です。

動作環境

Windows Xp Home Edition、Windows Xp Professional Edition

価格および配布

価格	52,500 円(消費税含む)
2次配布	配布はできません。

株式会社プレザム

〒135-0032 東京都江東区福住 1-11-4 福住石橋ビル 5F

お問合せ E-mail: sales@prezam.co.jp お問合せ電話番号: 03-5245-1948

サポート E-mail: support@prezam.co.jp

HomePage URL: <http://www.prezam.co.jp/>

IBM ViaVoice は、米国 IBM Corporation の商標。
Macromedia Director Lingo は Macromedia,Inc.の登録商標。
Apple Macintosh Mac は米国 Apple Computer,Inc.の登録商標。
Microsoft Windows は、Microsoft Corporation の登録商標。
他の会社名、製品名およびサービス名等は、それぞれ各社の商標または登録商標。

『ライセンス情報』

株式会社プレザム

このライセンス情報は、『Prezam Pool Builder』（以下『本プログラム』といいます）のご使用に関するものです。

「本プログラム」をご使用になるお客様が「本プログラム」の使用を開始されると、この条件に同意されたものとみなさせていただきます（この「ライセンス情報」に同意いただけない場合は、お客様により、ただちに「プログラム」を再使用不可能な状態で廃棄してください）。

1. 著作権の帰属：

本ソフトウェアおよび本ソフトウェアに附属するマニュアル等の関連資料（以下『関連資料』といいます）に係わる著作権（キャラクターおよびその他グラフィクス、名称等も含む）およびその他一切の知的財産権は当社に帰属します。

2. 禁止事項：

お客様は、以下の行為を行うことは出来ません。

- (1) 本ソフトウェアに関し、修正、変更、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル等すること。
- (2) 本ソフトウェア若しくは関連資料又はこれらの複製物の全部若しくは一部に関して、第三者に対して無償で配布することや販売等の利益行為を行うこと。

3. 免責：

当社は、お客様に対し、本ソフトウェア又は関連資料の欠陥、瑕疵等についてこれらを使用したこと又は使用出来なかったことから生じる一切の損害（お客様の情報の消失、毀損等による損害を含みます）に関し、損害賠償責任およびその他のいかなる責任も負わないものとします。

以上

ファイル形式について

Prezam Pool Builder の標準形式ファイル

プールビルダーの標準形式のファイルは、「単語」、「よみ」と「baseform」をタブで区切ったテキストエディタで作成できるファイルです。CSV形式とも呼ばれるファイル形式です。

ファイルに「baseform」の欄が無い場合は「よみ」が記述されていれば読み込み時に自動的に「baseform」を生成します。「単語」の欄のみで「よみ」「baseform」が無い場合でも読み込みは可能ですので、読み込み後に修正ウィンドウで「よみ」と「baseform」を入力、生成していきます。

エクセルで「単語」と「よみ」の表を作成して CSV 形式で出力したファイルを元に「baseform」を自動生成することもできます。修正したり追加してできあがったリストはプールビルダーの標準形式で保存することが可能です。

プールビルダーの標準形式以外に FSG ファイルおよびプールファイルを読み込むことができます。読み込んだファイルは既に読み込まれているあるいは追加されているリストの後ろに追加されます(標準形式のファイルも追加読み込みは可能です)。

FSG ファイル形式

FSG 形式ファイルは、グラマーファイルをコンパイルしてできるファイルです。ViaVoiceはこの FSG ファイルをボキャブラリーとして読み込みます。逆に言うところの FSG ファイルに入っている単語については全ての発音分かるようにプールファイルを作成する必要があります。FSG ファイルを読み込むことが可能ですから、発音プールの必要な単語がすぐにわかります。FSG ファイルには単語しか入っていませんので、単語だけが表示されます。「よみ」と「baseform」は修正ウィンドウを使って入力していきます。FSG ファイル形式のファイルと認識するために拡張子は「.fsg」にしてください。

プールファイル形式

ViaVoice が発音プールとして使用するプールファイル形式のファイルを読み込むことができます。プールビルダーは、このプールファイルを作成するためのツールですので、読み込んだ内容確認、修正、追加、連結などプールファイルのメンテナンスが可能になります。

プールファイルは、通常「単語」と「baseform」情報あるいは「単語」「よみ」「baseform」情報が含まれています。

使い方

Prezam Pool Builder で最初から単語を追加してプールファイルを作成する

プールビルダーアイコンをダブルクリックして起動します。



← アイコンをクリックします

「編集」-「追加...」メニューを選択して「単語の修正/追加」ウィンドウを表示します。



追加する「単語」を「単語」入力域に入力します。(例 オープン)

[TAB]キーで「よみ」入力域に移動すると、「よみ」が自動的に表示されます。表示された「よみ」が正しい場合には[TAB]キーで「baseform を「よみ」から生成する」ボタンへ移動して、[Enter]キーを押下します。

[TAB]キーを 2 回押下して[追加]ボタンに移動し、[Enter]キーを押下すると、入力した単語がリストに追加されます。

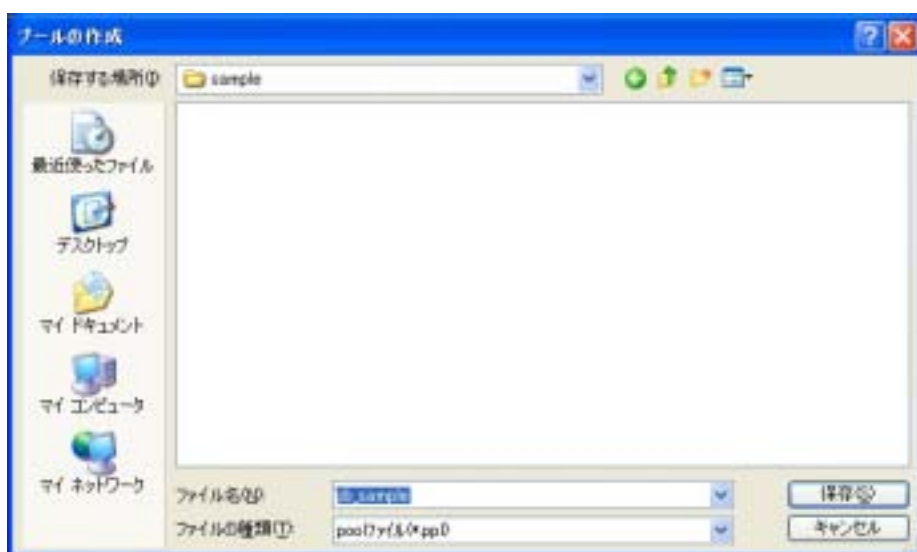


同じ要領で繰り返し単語を追加していきます。「よみ」入力域に自動的に「よみ」が表示されない場合には、「よみ」入力域に表示されている文字列を消去してみてください。

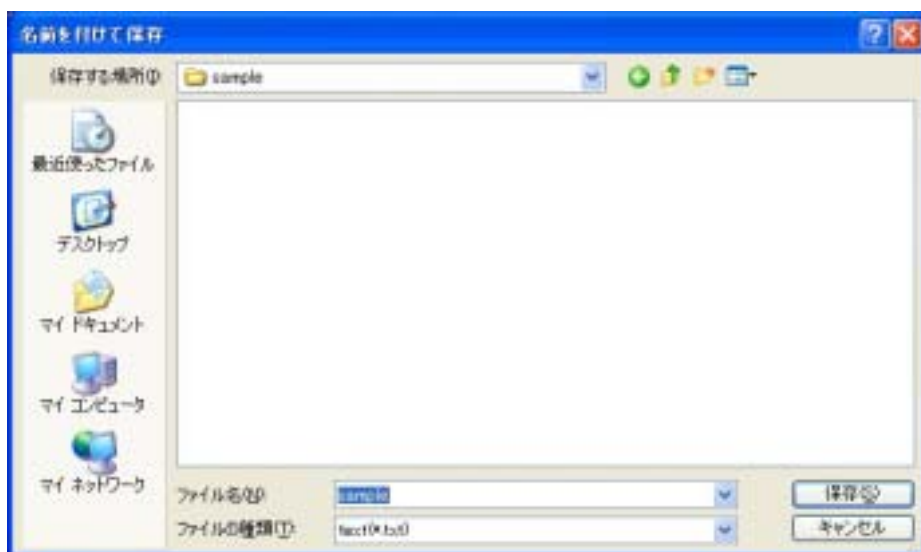
「キャンセル」ボタンをクリックして「単語の修正/追加」ウィンドウを終了します。

「ビルド」-「プール作成...」メニューを選択して「プール作成」ウィンドウを表示します。

プールファイルのファイル名を設定して「保存」ボタンをクリックすると、指定した名前でプールファイルが作成されます。プールファイル名は、なるべくユニークな名前になるように会社名やソフト名などを先頭に入れた名前などにしてください。

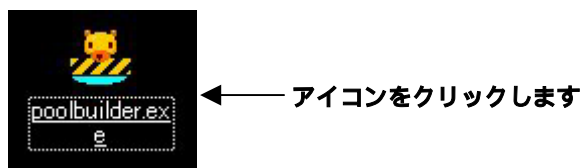


最後に作成した単語リストを保存します。「ファイル」-「名前を付けて保存...」メニューを選択して「名前を付けて保存」ウィンドウを表示します。ファイル名を指定して「保存」ボタンをクリックすると、指定したファイル名で保存されます。



F S Gファイルから読み込みプールファイルを作成する

プールビルダーアイコンをダブルクリックして起動します。



「編集」-「FSG ファイルからの読み込み...」メニューを選択して「開く」ウィンドウを表示します。読み込みたいFSG ファイルを指定して「開く」ボタンをクリックすると、FSG ファイルが読み込まれてリストに単語が表示されます。



単語に「よみ」と「baseform」を追加していきます。修正したい単語リストの行を選択して「編集」-「修正...」メニューを選択するか、修正したい単語リストの行をダブルクリックして「単語の修正/追加」ウィンドウを表示します。



「単語」入力域にリストに表示されていた単語が表示されていますので、[TAB]キーで「よみ」入力域に移動すると、「よみ」が自動的に表示されます。表示された「よみ」が正しい場合には[TAB]キーで「baseform を「よみ」から生成する」ボタンへ移動して、[Enter]キーを押下します。

[TAB]キーを 2 回押下して[修正]ボタンに移動し、[Enter]キーを押下すると、「単語の修正/追

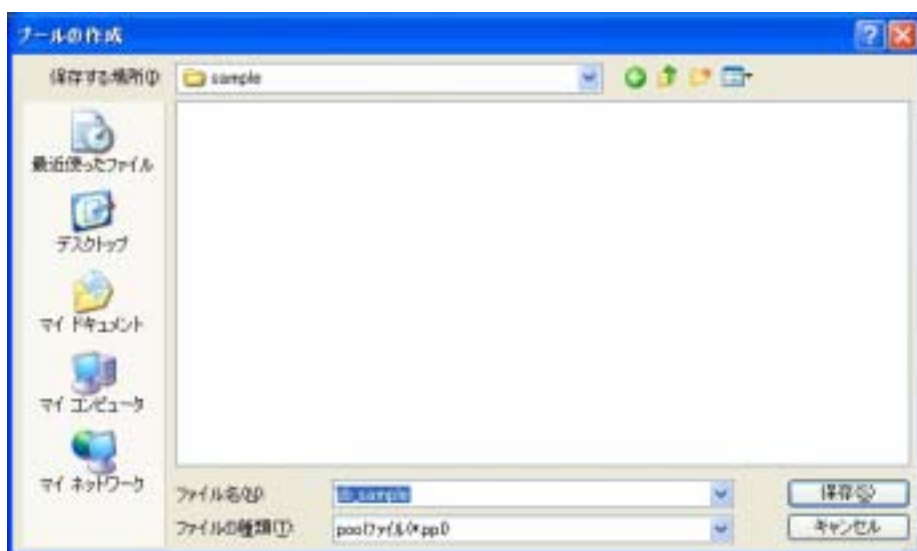
加」ウィンドウが消えてリストの選択した行の内容が変更されます。



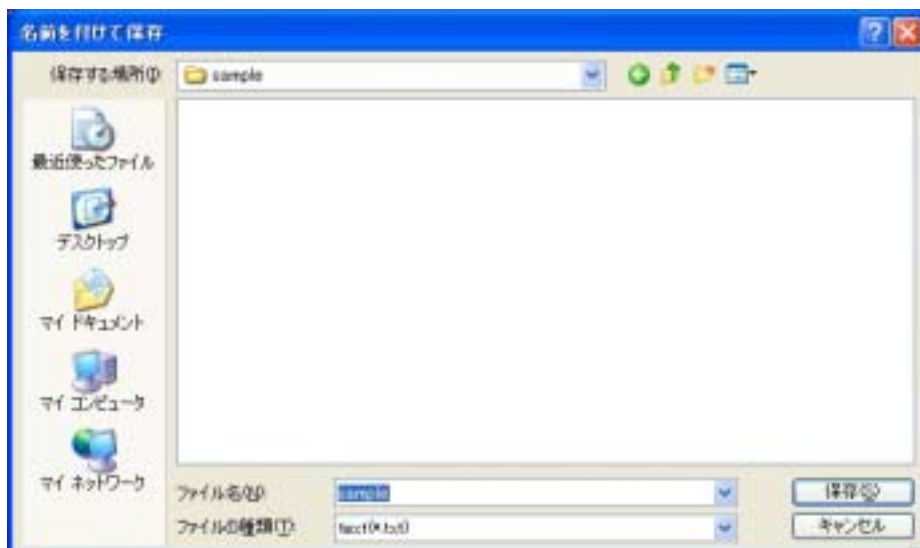
同じ要領で、次の行を選択して修正していきます。

「ビルド」-「プール作成...」メニューを選択して「プール作成」ウィンドウを表示します。

プールファイルのファイル名を設定して「保存」ボタンをクリックすると、指定した名前でプールファイルが作成されます。



最後に作成した単語リストを保存します。「ファイル」-「名前を付けて保存...」メニューを選択して「名前を付けて保存」ウィンドウを表示します。ファイル名を指定して「保存」ボタンをクリックすると、指定したファイル名で保存されます。



プールファイルを読み込み、単語を追加して新しいプールファイルを作成する

プールビルダーアイコンをダブルクリックして起動します。



← アイコンをクリックします

「編集」-「プールファイルの読み込み...」メニューを選択して「開く」ウィンドウを表示します。
読み込みたいプールファイルを指定して「開く」ボタンをクリックすると、プールファイルが読み込まれてリストに表示されます。

単語	よみ	baseform
オープン	おーぷん	oapu_n
クローズ	くろーず	kuroozu
開く	ひらく	hiraku
終了	しゅうりゆう	shuuryou
閉じる	とじる	tojiru
編集	へんしゅう	he_nshuu

「編集」-「追加...」メニューを選択して「単語の修正/追加」ウィンドウを表示します。

追加する「単語」を「単語」入力域に入力します。(例 削除)

[TAB]キーで「よみ」入力域に移動すると、「よみ」が自動的に表示されます。表示された「よみ」が正しい場合には[TAB]キーで「baseform」を「よみ」から生成する」ボタンへ移動して、[Enter]キーを押下します。



[TAB]キーを 2 回押下して[追加]ボタンに移動し、[Enter]キーを押下すると、入力した単語がリストに追加されます。

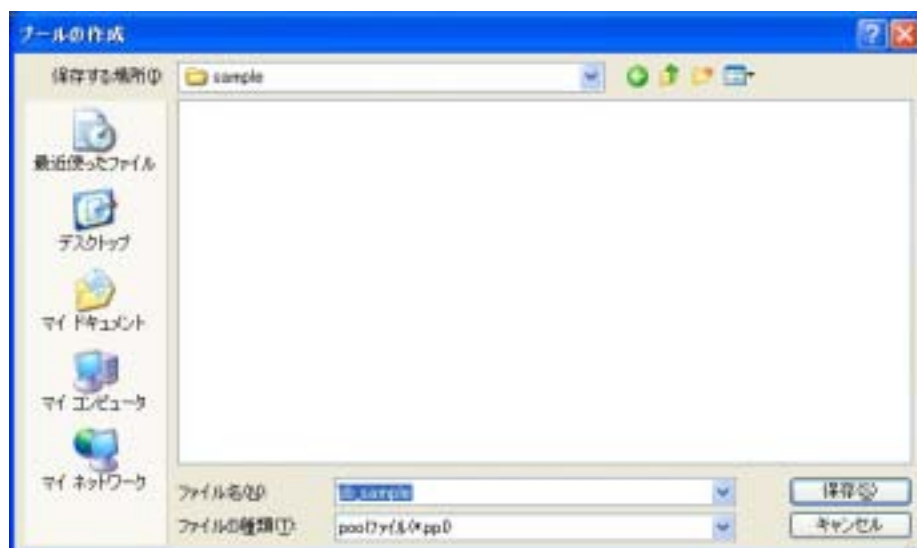


同じ要領で繰り返し単語を追加していきます。

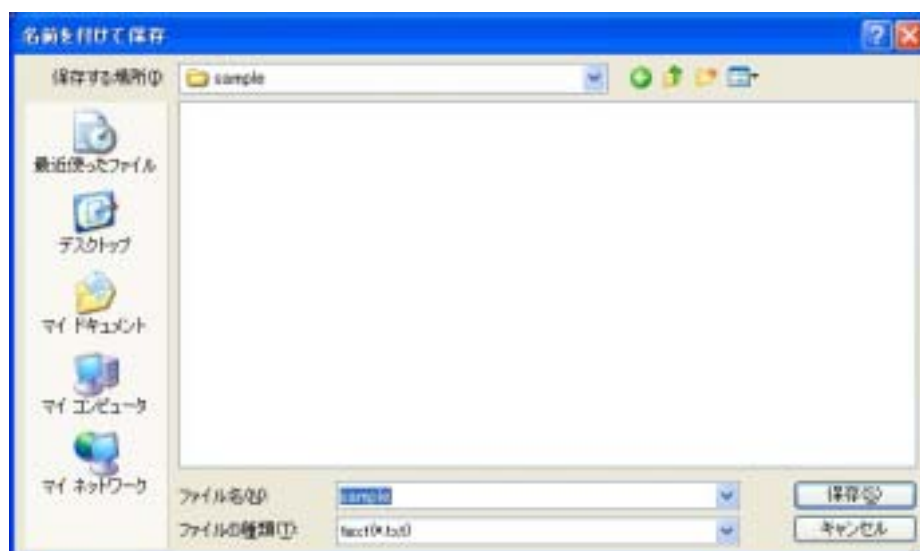
「キャンセル」ボタンをクリックして「単語の修正/追加」ウィンドウを終了します。

「ビルド」-「プール作成...」メニューを選択して「プール作成」ウィンドウを表示します。

プールファイルのファイル名を設定して「保存」ボタンをクリックすると、指定した名前でプールファイルが作成されます。



最後に作成した単語リストを保存します。「ファイル」-「名前を付けて保存...」メニューを選択して「名前を付けて保存」ウィンドウを表示します。ファイル名を指定して「保存」ボタンをクリックすると、指定したファイル名で保存されます。



リファレンス

起動方法

起動方法は次のふたつあります。

- (1) Prezam Pool Builder アイコンをダブルクリックすると、新規モードで起動します。
- (2) Prezam Pool Builder アイコンに標準形式のファイルをドラッグすると、起動と同時にそのファイルを読み込んでリスト表示します。

新規作成

メニュー [ファイル(F)] - [新規作成(N)...]

ショートカットキー [Ctrl]キー+ [N]キー

機能 表示されている単語リストをクリアして新規に開始します。表示されていた単語リストは保存していないと破棄されてしまいます。必要なものは先に保存しておいてください。

開く

メニュー [ファイル(F)] - [開く(O)...]

ショートカットキー [Ctrl]キー+ [O]キー

機能 Prezam Pool Builder 標準形式で作成されたファイルを開いて単語リストとして表示します。前に表示されていた単語リストは破棄されて上書きされてしまいます。必要なものは先に保存しておいてください。

上書き保存

メニュー [ファイル(F)] - [上書き保存(S)...]

ショートカットキー [Ctrl]キー+ [S]キー

機能 表示されている単語リストをファイルに保存します。保存するファイル名は、タイトルバーに表示されている「開く」コマンドで読み込んだファイル名か、このコマンドを実行する前に保存した時のファイル名になる。タイトルがまだ「無題」のままの場合にこのコマンドを実行すると、「名前を付けて保存」コマンドが実行される。保存しても表示されている単語リストはクリアされることはありません。

名前を付けて保存

メニュー [ファイル(F)] - [名前を付けて保存(A)...]

ショートカットキー なし

機能 表示されている単語リストをファイル名を指定して保存します。保存しても表示されている単

語リストはクリアされることはありません。

アプリケーションの終了

メニュー [ファイル(F)]-[アプリケーションの終了]

ショートカットキー なし

機能 Prezam Pool Builder を終了します。

ファイルの読み込み

メニュー [編集(E)]-[ファイルの読み込み(R)...]

ショートカットキー なし

ドラッグによるファイル指定 可能

機能 Prezam Pool Builder 標準形式で作成されたファイルを読み込み、表示されている単語リストに追加します。

Prezam Pool Builder のウィンドウに対してプールビルダー標準形式のファイルをドラッグすることにより読み込ませることも可能です。

FSG ファイルからの読み込み

メニュー [編集(E)]-[FSG ファイルからの読み込み(F)...]

ショートカットキー なし

ドラッグによるファイル指定 可能

機能 グラマーファイルをコンパイルしてできる FSG ファイルを読み込み、表示されている単語リストに追加します。FSG ファイルには単語しか入っていません。「よみ」と「baseform」は「修正」コマンドで追加してください。

Prezam Pool Builder のウィンドウに対して FSG ファイルをドラッグすることにより読み込ませることも可能です。

プールファイルからの読み込み

メニュー [編集(E)]-[プールファイルの読み込み(P)...]

ショートカットキー なし

ドラッグによるファイル指定 可能

機能 プールファイルを読み込み、表示されている単語リストに追加します。

Prezam Pool Builder のウィンドウに対してプールファイルをドラッグすることにより読み込ませることも可能です。

追加

メニュー [編集(E)] - [追加(A)...]

ショートカットキー [Insert]キー

機能 単語を追加するために「単語の修正/追加」ウィンドウを表示します。「単語の修正/追加」ウィンドウで「単語」「よみ」「baseform」を入力して「追加」ボタンをクリックすると、入力した単語が単語リストに追加されます。

修正

メニュー [編集(E)] - [修正(E)...]

ショートカットキー [Enter]キー

機能 単語リストの修正したい行を選択して、このコマンドを実行すると「単語の修正/追加」ウィンドウが表示されます。表示したウィンドウには、選択した行に記述されていた内容が表示されます。「単語の修正/追加」ウィンドウで修正したい部分を修正して「修正」ボタンを押すと、ウィンドウが消えて、単語リストの選択した行が修正されています。また、「単語の修正/追加」ウィンドウで修正した後に「追加」ボタンを選択すると修正した単語が単語リストに追加されます。

削除

メニュー [編集(E)] - [削除(D)...]

ショートカットキー [Delete]キー

機能 単語リストの選択した行が削除されます。

プール作成

メニュー [ビルド(B)] - [プール作成(C)...]

ショートカットキー なし

機能 単語リストからプールファイルを作成します。「baseform」の入っていない行があると「エラー」が表示されます。エラーが表示されたときには、その行を修正して再度このコマンドを実行してください。